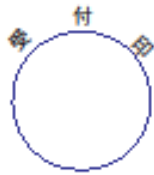


【記載例②】昨年中に収入のなかった方

第42号様式(その1)  
(宛先)  
横浜市

令和7年度 市民税・県民税申告書  
(令和6年1月1日から令和6年12月31日までの所得及び控除)

資料番号



令和7年1月1日現在の住所 旭区鶴ヶ峰一丁目4番地12

フリガナ ヨコハマ タロウ  
氏名 横浜 太郎

現住所 (1月2日以降転居した人の現在の住所)  
(お引越しをされた方は現住所をお書きください。そうでない方は空欄で構いません。)  
明・大・昭・平・令・西暦 30年1月1日生  
個人番号 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2  
電話番号 045-954-xxxx

本人該当事項 (該当するときは○印で囲ってください。)

1 寡婦・ひとり親 (死別・離婚・生死不明) 2 障害者 (身・精・愛・聴(3級)) 3 勤労学生 (学校名)

氏名 明・大・昭・平・令・西暦 年 月 日生 障害者身・精・愛・聴( )

同居有・無 個人番号

配偶者の給与収入額 配偶者の年金収入額 配偶者の合計所得金額

円 円 円

氏名 続柄

明・大・昭・平・令・西暦 年 月 日生 障害者身・精・愛・聴( )

同居有・無 個人番号

明・大・昭・平・令・西暦 年 月 日生 障害者身・精・愛・聴( )

同居有・無 個人番号

明・大・昭・平・令・西暦 年 月 日生 障害者身・精・愛・聴( )

同居有・無 個人番号

明・大・昭・平・令・西暦 年 月 日生 障害者身・精・愛・聴( )

同居有・無 個人番号

本人該当事項に当てはまるものがあれば、該当の欄にご記入ください。

配偶者・親族を扶養している場合は、記載例①を参考に該当の欄にご記入ください。

種目	① 収入金額	② 必要経費 (①の金額を減く)	③ 青色申告特別控除額	所得金額(①-②-③)
1 事業等				①
2 不動産				②
3 利子				③
4 配当				④
5 給与				⑤
6 雑				⑥
7 公的年金等				⑦
8 総合課税				⑧
9 短期				⑨
10				⑩
11				⑪
12				⑫
13				⑬
14				⑭
15				⑮
16				⑯
17				⑰
18				⑱
19				⑲
20				⑳
21				㉑
22				㉒
23				㉓
24				㉔
25				㉕
26				㉖
27				㉗
28				㉘
29				㉙
30				㉚
31				㉛
32				㉜
33				㉝
34				㉞
35				㉟
36				㊱
37				㊲
38				㊳
39				㊴
40				㊵
41				㊶
42				㊷
43				㊸
44				㊹
45				㊺
46				㊻
47				㊼
48				㊽
49				㊾
50				㊿

ここから右側には記入しないでください。

該当する欄にご記入ください (いずれか一か所で構いません)。

2 令和6年中に所得のなかった人は、この欄に同年中の生活状況等を記入してください。

1 仕送りを受けていた、扶養されていた (仕送り・扶養していた人の住所・氏名・続柄) 住所 (例1) 同上

氏名 横浜 旭 あなたとの続柄 父

2 学生である (令和7年1月1日現在) 学校名 \_\_\_\_\_ 学部 \_\_\_\_\_ 学科 \_\_\_\_\_ 年在学中( 年 月卒業予定)

3 次のいずれかに該当する  
 遺族年金(恩給)を受給  
 障害年金を受給  
 傷病手当金を受給  
 雇用保険を受給  
 生活保護などの公的扶助で生活

4 その他 (生活状況を詳しく書いてください、預貯金で生活等)  
(例3) 預貯金で生活。

収入がなかった場合、裏面の記入は必要ありません。

給与所得・公的年金等に係る所得以外(令和7年4月1日において65歳未満の方は給与所得以外)の所得に係る住民税の納税方法について

1 普通徴収 自分で住民税を納付する方法  
2 特別徴収 給与から住民税を差引きする方法